

特集 ⑤

社会貢献の 拠点



NPO 法人松山大学学生地域創造研究所 Muse (ミューズ) 理事長
内藤菜々栄 (松山市)

ミューズ発足

大学生のボランティアサークルであったエコクラブをNPO法人として六年前に独立しました。その内容は、大学と地域の連携事業や大学の社会貢献事業を推進し、まちづくりやまちの活性化を支援するなどがあります。現在現役大学生九五人を有する組織として、年間十三に上る事業を展開しています。松山大学建学の、真実・実用・忠実の精神に基づき、地域社会発展に帰依する志を立て活動を

しております。その活動の中から、五つの活動を紹介したいと思います。

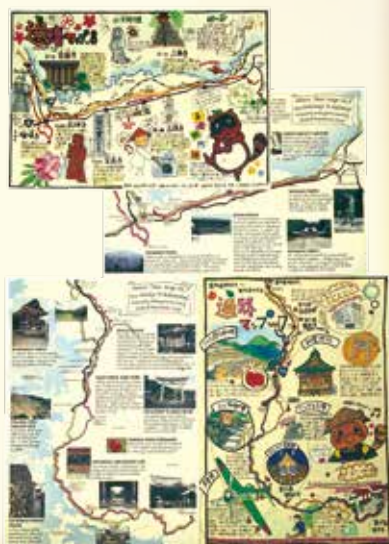
俳句修学旅行へいらつしやい

県外のある小学校が、俳句の里松山で、観光をしながら俳句に挑戦するという修学旅行の企画を担当しました。班對抗の観光クイズなどを通じて松山の観光を紹介した後、私たちのつたないガイドの松山城見学。メインは俳句のネタを密やかにメモし、道後温泉の酒造メーカーに行つての俳句作りです。出来あがつた俳句は、道後サイダーのラベルに手書きし、オリジナルのサイダーの完成。笑顔満面の小学生たちでした。この企画は修学旅行を単なる観光で回るだけではなく、体験型のグリーンツーリズムとして、参加者をはじめ関係した多くの人たちに、地元の良さを再発見する機会となったことと思います。私たちもガイドの資料や俳句作りの学習と、多くのことを学ぶ貴重な体験となりました。

(記事 眞木里乃)

たぬきの愛した遍路道

今年の春、四国霊場や遍路道を紹介する「お遍路マップ」シリーズ九作目が完成し、愛媛県内全二十六札所を網羅しました。遍路道に関心を持つてもらおうと、松山大学の学生が十年前から作り始



遍路マップ

め、三作目から私たちミューズが引き継いで発行してきました。表には、楽しいたぬきや地方の伝説などのイラストで、四国八十八カ所を可愛らしく紹介しています。裏面は、外国人の観光客にも楽しんでもらえるように、外国人教師指導のもと英文で作成しています。さらに、今年は今までのシリーズをまとめたダイジェスト版を制作中です！今年の十月頃完成予定です。遍路を多くの人が理解し、四国独特のお接待やおもてなしの精神を、まちづくりに反映出来たらいいなと願っています。(記事 窪田千海)

砥部焼の里 村の駅 誕生

砥部町五本松地区にある接待所「村の駅」は、砥部焼をより親しみあるものにすべく、四年前の秋にオープンしました。私たちミューズは、薫ぶき屋根の古民家だった家を活動できる環境に整え、尺八ライブを企画し、その演奏とと

松山市奥久谷の地元の人々たちが地域の活性化のため開催されたほたる祭りは、今年で十四回を迎え、「若い力でお祭りを盛り上げてほしい」という依頼から、私たちも取り組むことになりました。

■ 浴衣でおいでや ほたる祭り
（記事 渡部裕奈）

もに、オリジナルの水軍鍋を振る舞う演出で、高い評価を受けました。そして今年の大型連休では二日間に渡る「村の駅マルシェ」という市場を開催し、砥部焼掘出し市や蚤の市、その他飲食店などのお手伝いを行い、村の駅を盛り上げました。また、恒例の七夕祭りでも企画運営の手伝いを実施、今後もこのような地道なイベントを重ねることで村の駅を「砥部の玄関口」にしていきたいと思っています。（記事 渡部裕奈）



村の駅



ほたる祭りおでん販売

人々が楽しめるものになっています。地域の活性化の一助として始めたこの事業は、今や地元にとってまちづくりの柱となっています。（記事 立花彩希子）

■ ぼんぼこ村農業奮闘記

松山市教育委員会主催で子供たちが農業・文化体験をし、私たちがそのお手伝いをするという事業を行っています。小学四年生から中学三年生までを対象として毎年四十名の子供たちと一緒に、野菜の植え付けや収穫・田植えと米の収穫・そばの種まき収穫とそば打ち体験など、一年を通じ農業の体



ぼんぼこ村6月田植え



松山城見学で俳句のネタ探し

験をするという企画です。また久谷の坂本地区文化財めぐりを通じて歴史ある文化財や史跡を見学しています。普段体験できない農作業を通じて食べ物の大切さを学ぶ貴重な経験となっています。大学生は、子供たちをサポートしながら、教育の意義や手段について真剣に考える機会となっています。そして、決められた時間の中で、いかに私たちの言動が子供たちにとっての人間教育となるのか、悩ましい奮闘となっています。

（記事 中村梨乃）

以上のような活動を通じて、私たちミューズは若者の視点でまちづくりとまちの再発見を推進し、自然環境と人間関係の豊かなこの地を、さらなる住みよいまちとして創造する力を発揮していく団体でありたいと思っています。（内藤記）